

# いじめ防止へ条例

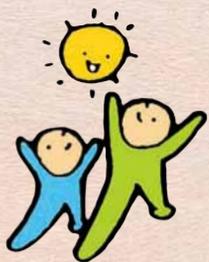
## 共産党市会 は反対

9月市会で可決

誰もが等しく教育を受けられ、健全な生活が阻害されず、また、いじめによって尊い命が失われないよう、徹底した議論を踏まえ、「京都市いじめの防止等に関する条例」が成立しました。この条例は、政令市で唯一、「学校・生徒だけでなく、保護者や地域全体で取り組むことも」、子ども自身も明確な義務を持って、主体的に行動する規範意識をしっかりと育む」という項目を設けています。

京都市が提案した本条例案に日本共産党市会議員団が反対したことは誠に遺憾です。私たちは条例成立を契機に、子どもの人権が守られる教育環境の更なる整備に真摯に取り組んで参ります。

# 自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成26年(2014)11月9日発行

■発行人/繁 隆夫  
■編集委員/山本恵一・しまもと京司  
〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
http://jimin-kyoto.jp/

No.47

## 平成27年度 予算・市政方針で要望

# 期待感を実感に

## 市民を失望させない！

自由民主党京都市議員団は、10月27日、平成27年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望を門川市長に提出しました。要点は次の通り。

自由民主党市会議員団は地域に根付いた国民政党としての力を最大限に活用し、きめ細やかな対応を取りながら、「地方創生」に向

け全力を傾注していく。本市はもとも財政基盤が脆弱であり、今後も厳しい見直しが必要である。必要な施策であったとしても、あれもこれもできるような状況にはない。ただ、そのような状況下であつても、「地方創生」に

域の要望を聞いた結果がこの要望である。その想いは「期待感を、実感に」そして、「国民・市民を失望させない決意」である。我々議員団は、京都市会の最大党派として、最も多くの市民から信託を受けた

市民の代表としての「自負と責任」を基に、様々な要素を盛り込んだ上で、力強い京都、未来に羽ばたく京都を創るため、平成27年度予算及び今後の市政方針に対し、強く要望するものである。



門川市長に要望書を手渡す自民党議員団

も、「地方創生」に向けた、未来志向の政策や今後の京都を発展させるための予算を編成していくことは大変重要である。今回、多くの市民にとって有益な予算となるよう、京都市内11行政区、全ての行政区にいる我々自由民主党京都市議員が地域を回り、詳細にわたって地

市民の暮らしに繋げる予算  
各常任委員会別の要望  
▼経済総務委員会 市政改革の更なる推進による必要かつ適切な予算配分と人員の配置、財源の確保による産業活性化と観光振興等、京都経済の回復を市民の安心・安全なくらしにつ

キャンパス文化パートナーズ制度の充実やスポーツ施設の整備・更新、地域コミュニティの活性化と安心安全施策など19項目。  
▼教育福祉委員会 介護サービス基盤の整備促進など高齢者福祉の充実、休日・一時保育や幼児保育等の保育の質の向上、食育や保育の充実、福祉施設や避難所指定の体育館・講堂の早期耐震化など37項目。  
▼まちづくり委員会 空き家条例の適切な実施、四条通拡幅事業の円滑な推進、「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想の積極的な取組、「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」の推進など25項目。  
▼交通水道消防委員会 消防団の充実強化、放火防止対策、バス専用レーンの充実、烏丸線可動式ホーム柵の整備などの安全対策、雨水幹線整備の着実な推進、疏水や未利用地など保有資産の有効活用など21項目。

## 観光都市の品格守る

### 行政区別の要望

▼北区 御薊橋架け替え工事と上賀茂神社への周辺道路整備に併せて、交通渋滞の解消など9項目。

▼上京区 地域住民等の意見を基に、地域の財産となるような元西陣小の跡地利用など7項目。

▼左京区 請願が採択された花脊峠のトンネル化、

大原百井地域の国道477号線の整備など11項目。

▼中京区 観光都市京都の風情や品格を守るための木屋町通等における客引きへの対策など6項目。

▼東山区 誘致一辺倒の観光客増加ではなく、観光客のマナー向上をも図る取組の推進など2項目。

▼山科区 ゲリラ豪雨等

の災害に強い治水対策や、歩行者の安全確保のための狭あい道路改善など5項目。

▼下京区 多くの来園者でにぎわう梅小路公園への重要なアクセスとしてのJR新駅の早期建設など14項目。

▼南区 八条通や向日町上烏羽線など交通不便地域のバス路線充実と同計画道路の延伸など5項目。

▼右京区 古都保存地域

# 京都経済活性化に向けて

## 「地方創生」踏まえ 新産業、伝統産業ともに

富きくお議員 (山科区)

富きくお議員(質問) 第二次安倍内閣の最大の課題は、「元気で豊かな地方の創生」すなわち、地方経済の活性化ですが、この方針を受け、京都経済の活性化に向けて今後どう取り組んでゆかれるのか。  
門川大作市長(答弁) 政府が安定した経済の成長と人口減少社会を乗り越えるため「地方創生」を政策の柱に据えたことは、本市の政策と一致



大雨で道路を塞いだ土砂崩れ現場 (資料)

し心強く、積極的に活用してゆきます。今後の成長が見込まれる環境・エネルギー、健康・医療、コンテンツ分野での産学連携による新産業の振興、伝統産業分野での新商品開発と海外での販路開拓などに取り組んでゆきたい。また中小企業をしっかりと下支えすることで、雇用創出と安定した所得の確保、市税収入の増加を実現して参ります。

### 土砂災害の防止 今後の危機管理

富きくお議員(質問) 土砂災害の未然防止や被害軽減のためのハード整備に関する補助制度創設の検討を進められてはどうか。また、何より大切なのは、ソフト面での住民の早期

### 富きくお議員の質問項目

- ・「アベノミクス」及び「地方創生」に対する市長の見解と本市経済の活性化に向けた取組の決意
- ・25年度決算に対する評価と今後の財政運営
- ・局地豪雨対策と危機管理(広島土砂災害の教訓から本市の今後の危機管理のあり方。総合的な治水対策と豪雨に対する今後の浸水対策)
- ・AED設置の現状とその課題
- ・地下鉄事業(可動式ホーム柵の安全な運用に向けての取組と今後の設置計画。経営健全化の進捗状況と更なる増客のための取組)
- ・「船下り」による琵琶湖疏水の活用と地域の活性化
- ・山科区内へのバス乗り入れ(要望)

避難対策であります。土砂災害警戒区域等の指定拡大に向け、区役所はじめ関係部署が地域住民と密接に連携し、危険性を周知し、避難計画の策定に努力すべきだと思っております。どう取り組んでゆかれるのか。  
門川大作市長(答弁) これまでも、土砂災害危険箇所を明示した防災マップの全戸配布や危険箇所の点検等ソフト面での対策を中心に実施して参りました。ハード整備に関する補助制度については、現在は土砂災害復旧工事を中心として、今後、支援措置について研究し国にも要望して参ります。土砂災害区域の指定については、京都府の責任で実施するものですが、区役所等が中心となり、避難経路の明示や、災害から住民の命を守る訓練を先取りして実施し指定拡大を促して参ります。

## 琵琶湖疏水下り 本格実施めざす

富きくお議員(質問) 琵琶湖疏水の船下りは、先人達の

偉業の体感と、山科地域の活性化や観光振興のためにも是非実現していただきたい。  
門川大作市長(答弁) 琵琶湖疏水の建設の意義について

再認識して頂くとともに、新たな観光資源創出のためにも、平成27年春に試行実施し、本格実施に向けた準備を着実に進めて参ります。

# 開かれた学校づくりの核

山本恵一議員(北区)

山本恵一議員(質問)「京都方式」とも呼ばれる学校運営協議会を核とした開かれた学校づくりの更なる推進について、教育長のご所見をお伺いします。  
生田義久教育長(答弁) 京都市方式の学校運営協議会は、現在、全

### 山本恵一議員の質問項目

- ・学校運営協議会を核とした開かれた学校づくり
- ・介護保険制度の改正(新しい総合事業)
- ・社会福祉施設等の耐震化の取組
- ・ごみ屋敷等対策の推進
- ・京都の森を再生するための木材需要の促進
- ・市バス路線・ダイヤの拡充
- ・バス待ち環境の向上
- ・消防団の充実強化(消防団員の処遇改善となる報酬制度。事業者の消防団活動に対する理解の促進)
- ・上賀茂神社付近の道路整備(御園橋拡幅に併せた町並みの保全)(要望)

行「耐震アドバイザー派遣事業」や、耐震診断費用の助成により、既存の事業者に対する施設の耐震化への理解の促進及び耐震診断を着実に進めて参りました。  
こうした取組を一步進め、より円滑かつ計画的に社会福祉施設の耐震化が進められるよう、耐震改修にかかわる助成制度について、本市独自の補助率の上乗せを積極的に検討して参ります。

## 学校運営協の拡大 中学校区での人材制度も

富きくお議員(質問) 土砂災害の未然防止や被害軽減のためのハード整備に関する補助制度創設の検討を進められてはどうか。また、何より大切なのは、ソフト面での住民の早期

### 社会福祉施設の耐震化への取組

山本恵一議員(質問) 民営保育園以外の社会福祉施設の耐震化の更なる推進に当たっての課題と、今後の具体的な取組方向についてお伺いします。  
門川大作市長(答弁) 本市

では、専門家を派遣し、現地調査や効果的なアドバイスを

## 京の特性を活かし 多様な木材活用

山本恵一議員(質問) 木質ペレットの生産をはじめとした木材需要拡大策に取り組んでおられますが、京都の特性を活かした多様な木材活用を更に図っていくべきであると思っております。今後の木材の需要拡大策についてお伺いします。  
門川大作市長(答弁) 昨年

度から木質バイオマス発電についての検討を始めております。今年度は京都市木質バイオマス供給者会議を設置し、燃料となる木材の安定供給、発電規模、採算性等について京都の実態を踏まえた議論を進めているところでございます。  
今後は、質の高い建築用材から木質バイオマスに使用する未利用間伐材等に至るまで総合的な木材の需要を喚起すること、京都の特性に合った林業の活性化を図り、50年先、100年先も美しい森が保たれるよう努めて参ります。



京都の木材「みやこ杉木」を活用した南太秦のバスの駅

参ります。

# 代表質問

9月定例会市会 (9月29日)

## ごみ減量化加速する必要がある

### 食品ロス減らそう

#### 目標、全国初の条例化

田中明秀議員 (西京区)

田中明秀議員(質問)「ピーク時からのごみ半減」を目指した本市のごみ減量化を加速させるため、どのように取り組んでゆかれるのか。

門川大作市長(答弁)本市のごみ減量はここ数年わずかな量にとどまっていることから、ごみの減量化を加速させる必要があります。分別・リサイクルを促進するとともに、食べ残しや手つかずの食品いわゆる「食品ロス」の削減

目標を全国で初めて設定し、小売り・飲食業者等の皆様にも、食材の使いキリや食べベキリなどを主体的に取り組んでいただく、政令市初となる内容の条例化や、食品スーパーにおけるレジ袋有料化の、これも政令市初となる市内全店実施などに取り組んで参ります。

#### 文字・活字文化 振興極めて重要

田中明秀議員(質問)子どもたちが漢字を「書く」ことを通じてしつかりと漢字を習



周辺道路も含め整備を検討されている阪急上桂駅付近

#### 阪急・上桂駅と 周辺の整備検討

田中明秀議員(質問)1日

約8千人が利用されている阪急上桂駅のバリアフリー化と駅北側道路府道太秦上桂線の拡幅整備をどう進めるのか。小笠原憲一副市長(答弁)

阪急上桂駅のバリアフリー化整備は嵐山方面ホームに直結する駅西側に改札を新設するなど、平成28年度完成を予定しています。都市計画道路太秦上桂線を含めた、今後の道路整備の進め方については、課題として認識しており、引き続き検討して参ります。

得し、さらに日本の伝統・文化に触れ、理解することに繋がるような京都ならではの取組を充実させていただきたいと考えるが、いかがか。

の言語文化の象徴である漢字を子どもたちが学ぶことは、我が国の伝統文化の理解や次代への継承において、極めて重要です。来年度から使用する小学校の国語・書写の教科書に即した本市独自の教育課程指導計画の策定を進め、漢

字の成り立ちや意味合いを学び、漢字を通して伝統文化の理解に繋げることなどを学習内容等に盛り込み、平成28年度に開館予定の我が国初の「漢字博物館」の見学・体験を企画するなど、漢字学習の充実に努めて参ります。

## ラグビーW杯を京で開催

### 西京極招致実現を

#### 府市協調で施設を整備

やぐらひ泰広議員 (左京区)

さくらい泰広議員(質問)

ラグビーワールドカップ2019日本大会の公式戦西京極招致について、市長は京都府ラグビーフットボール協会の川勝会長と合意され、予算委員会総括質疑で正式に招

致の方針を表明されました。西京極で公式戦を行うために必要な施設整備は、府市協調で行うと発言されています。ワールドカップ組織委員会への申請期限が迫る中で、府市協調で行う施設整備の進捗状況と、世界で最も魅力的な観光都市、文化都市、歴史都市、また関西のラグビー発祥の地

である京都市でワールドカップ公式戦が行われる意義と招致への決意を伺います。

#### さくらい泰広議員の質問項目

- ・ラグビーワールドカップ日本大会公式戦の西京極総合運動公園への招致
- ・本市における観光政策
- ・経過措置期間が終了した屋外広告物の現状と今後の取組
- ・自転車政策
- ・学校で起こった重大事故を調査するための第三者機関設置の仕組みづくり
- ・道徳教育
- ・子育て支援策
- ・花背峠以北の北部山間地域の災害対策(要望)

である京都市でワールドカップ公式戦が行われる意義と招致への決意を伺います。

門川大作市長(答弁)会場を想定している西京極陸上競技場兼球技場は府市協調によりメインスタンドの屋根や大型映像装置の設置など計画的に改修することとしており、今年度は基本設計に着手しております。また国際大会でも対応可能なロッカールームや貴賓室の改装を行うとともに、招致が実現すれば現在の2万人に加え、約5千人の仮

生田義久教育長(答弁)改めて養徳小学校におけるプール事故の重大さを痛感し、ご遺族に深くお詫びいたします。議員ご指摘のとおり、学校での重大な事故を検証する第三者委員会の設置は重要であると考え、今回の取組を先例とした本市独自の方針を策定すべく検討を進めます。

#### 学校で重大事故 早期に検証必要

さくらい泰広議員(質問)

学校で生徒が被害者となる、あつてはならない重大な事故が発生した場合、できるだけ速やかにその事故を客観的な視点で検証する第三者委員会を立ち上げる仕組みを条例や規則など、何らかの形で規定する必要があると考えています。平成24年7月に発生した養徳小学校でのプール事故を検証した第三者委員会より報告書が教育委員会に提出されましたが、今回のこの委員会を立ち上げた経験と実績を生かして、第三者委員会を立ち上げる仕組みづくりについて、早急に取り組みされることを提案します。



ラグビーW杯招致をめざす京都市のポスター

～京都市政のリーダーシップ～  
 自由民主党京都市議員団23人、一人ひとりに「決算審議を振り返っての取組」をテーマに市民のための政策と活動についての一言を聞きました。  
 (自民党市議員団ニュース編集長)

小林 正明 (北区)



監査委員として質問を遠慮した。審議の中で「社会福祉費の増大」「屋外広告物の是正指導」「四条通歩道拡幅事業」「市立中高一貫校の推進」が印象に残る。

山本 恵一 (北区)



子ども医療費支給制度の拡充と学校運営協議会の小中合同設置の全市拡大と更なる取組の充実について質問をし、来年度予算に反映を要望しました。

中村三之助 (上京区)



9月市会は特に防災対策に関する質疑が多岐にわたり展開された。この議論は必ず今後にかかされていくものと議長として確信致します。

寺田かずひろ (上京区)



「健康寿命を延ばすことが年々増大する社会保障費対策になる」と、口腔保健拡充や排尿管理センターの設置など具体的に提言いたしました。

大西 均 (左京区)



国の法改正による消防団員の報酬制度導入については、地域で無報酬で活動される他団体と比較しながら、今後のあり方について議論しました。

さくらい泰広 (左京区)



安倍政権発足直後に編成された予算に対する決算審議であり、特に安心安全のための公共事業の推進に成果があったものと考えます。

加藤 盛司 (中京区)



決算審議では、保育園の公立と私立の保育士の定数格差について質疑すると共に、手厚い公立の基準に私立を合わせ、保育水準の引き上げを実現します。

津田 大三 (中京区)



今決算では、決算委員長として全分科会に関わりました。延べ約100時間にわたり、延べ約300人の議員により熱心な議論がなされました。

香川佐代子 (中京区)



市民の皆様からいただいた大切な税金が、日々の暮らしの向上や京都のまちの発展のために使われているか厳しくチェックしました。

内海 貴夫 (東山区)



気候不順の年、化石燃料使用から、再生可能エネルギーと省エネ・節電の取組を進め、地球温暖化防止に努めているかチェックしました。

富 きくお (山科区)



山科の交通課題解決に向けた市交通局主導の支援、京阪バス路線であっても市バスと同様の関与と取組を行う必要性を強く求めました。

# 決算審議を振り返って

## 23人、市政への取組を語る

吉井あきら (山科区)



市民の皆さんにご負担いただいております有料ごみ袋によって得られた財源の使い道について、点検と見える化の必要性について指摘しました。

下村あきら (下京区)



安心と賑わいのまちの実現のため、「トイレ等、指定避難所設備の充実」「外国人観光客満足度及び宿泊数増加への対策推進」等の取組強化を要望。

椋田 隆知 (南区)



市役所のお金の使い方が、市民の安心・安全な暮らしに活かされているかを是非々々で点検・監視・評価。福祉豊かな活力ある京都を目指す政策を提案。

しまもと京司 (南区)



区域別会計の導入と各政策の経済効果の検証、ムダ遣いの撤廃、地域間の不均等やさまざまな社会格差の是正と全地域力の底上げを主張、徹底審議。

井上与一郎 (右京区)



2年続いて本市に巨大台風が襲来、山々も大被害を受けました。都市の緑や、環境保全に役立つ山林の林道復旧に取り組みました。

山元 あき (右京区)



今回の決算審議において有効性や必要性が疑問視された事業は速やかに改善・見直しが行われ、次年度予算に反映される事を望みます。

田中 明秀 (西京区)



昨年の台風18号の災害をうけて、改めて日頃の備えが市民のいのち、くらし、財産を守ることにつながると認識させられました。

西村 義直 (西京区)



市民にとって有益な事業が執行されているかを審議する重要な決算審議により、京都市の多岐に亘る政策が向上するよう取組みました。

高橋泰一朗 (伏見区)



地球温暖化現象の進行による最近の豪雨災害を踏まえた関係機関との連携体制及び職員に対する訓練教育を実施し、安心安全を確保すべき。

繁 隆夫 (伏見区)



スポーツ施設の指定管理期間は4年間となっているが、人材育成や専門知識の習得期間などを考えるとスポーツ施設において4年間は短いと考えます。

橋村 芳和 (伏見区)



伏見区では本年、放火が頻発。安全な暮らしを守るため、十分な消防体制を要請。地域の防災拠点である消防団施設の早期耐災化を求めました。

中川 一雄 (伏見区)



決算委員会では、第二分科会の主査として、質疑は出来ませんでした。主要局の決算について、真剣な質疑をされたことに敬意を表します。

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい

〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
 自民党京都市議員団  
 jim3@nifty.com FAX.257-3091